

平成29年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	親子の食農共有体験“あぐりちゃれんじ”
事業名	釧路の地域資源を活動した親子の食農共有体験事業の展開
課題テーマ	安心して暮らして都市
事業提案の背景	親子の食農共有体験“あぐりちゃれんじ”は、平成24年度より、北海道教育釧路校の協力によって、親子向けの食農体験を展開してきた。これらの活動を通じて、釧路の地域資源としての里山環境の素晴らしさを、食農体験を通じて深めることができること、また子育ての悩みを共有・共感する場として食農体験の意義を見出すことができるのではないかと考え、これらに関する各種学習会を開催し、釧路で安心して子育てできるまちづくりに貢献したいと考え、申請を行うことに至ったものである。
事業目的	北海道教育大学釧路校と連携し、親子の食農共有体験を通じて、釧路の地域資源としての食や農に関する理解や域内循環に関する理解を深め、同時に釧路に住む親子の抱える課題（基礎的生活体験、子どもの成長支援、発達障害理解、食物アレルギー対策など）に寄り添うために、公開型の学習会を各種実施し、子ども向けには農業理解を進めるためのジュニア農業検定を実施する過程で安全・安心に釧路で生活するための貢献を行う。
事業概要	1. 公開型食物アレルギー学習会（対象者：13名） 2. 公開型アンガーマネジメント学習会（対象者：13名） 3. 公開型野外散策学習会（対象者：24名） 4. 公開型ジュニア農業検定（対象者：延べ193名）
事業展開	北海道教育釧路校農場を利用し、毎月2回程度の食農体験事業を展開する。これに付随させて、公開型の各種学習会を組み込んだ。 今回実施した主な事業は、食物アレルギー、子どもに向き合うために怒りをどうコントロールするかを学ぶアンガーマネジメントなどの学習会を開催した。また、子ども向けには、農業理解を進めるためにジュニア農業者検定を実施し、農業に関する基礎的な力を習得させた。これには農業者検定2級を取得している学生が対応し、子どもの学年に応じて、農業検定3級程度の知識を身に付けさせた。
成果目標の達成状況	事業成果として、①子育て上の各種課題を共有するために各種学習会を市民全般に公開して実施した。②子ども向けに食や農に関する興味関心を高めるために、ジュニア農業検定の策定と検定実施を行い、合格証を付与した。③学習会の成果は記録集を作成し公開した。④参加学生には、本成果を日本環境教育

	学会北海道支部研究大会に報告し、第三者からの助言を受けた。
波及効果の達成状況	①子育てに関する課題を共有しながら、ネットワークを形成することができた。②興味ある親子は、あぐりちゃれんじに参加し、更なる体験を共有できた。③親の学習も支援し、興味ある親には企画運営まで参画させ、主体的行動を喚起できるようになり、行政や自立した事業展開への力量形成が期待できた。
実施体制	親子の食農共育体験“あぐりちゃれんじ”実行委員会が主催し、北海道教育大学釧路校地域・環境教育専攻食育と環境教育研究室並びにESD推進センターと連携して実施した。学生のボランティア体験を受け入れ、栽培学習や食体験指導、支援の機会を保障した。
連携した市担当課	☎ ・ 有 (部 課・室)
連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)	

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	100,000	
自己資金	299,656	
合計	399,656	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
謝礼	39,965	公開学習会講師謝礼 (田丸典彦、矢内孝子、高砂律子)
消耗品費	56,389	ダンボール紙、ラミネートフィルム、コピー用紙、軍手、ビニール手袋、ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ウッドトップチェスト、ランドリーバスケット、作業テーブル、インク、文房具等
役務費	4,346	切手代
小計	100,700	
対象外経費		
消耗品費、食糧費	135,968	
役務費	12,774	送料、保険料
旅費	32,060	
印刷製本費	18,360	
書籍代	99,759	
謝礼	35	
小計	298,956	
合計	399,656	